

もう一度 よりよい施設で よりよいまちに クリーンセンターの建て替えを みんなで考えよう

武蔵野クリーンセンターは、昭和59年に稼動以来24年が経ちました。昭和46年のふじみ処理場へのごみ搬入阻止から始まったクリーンセンター建設への歩みは、市民参加の大プロジェクトでもありました。そして今、未来に向けて建て替え計画の検討が始まりました。ごみは市民一人ひとりの問題です。みんなでクリーンセンターの建て替えについて考えましょう。

昭和30
～40年
ごみの増加から
ごみ戦争勃発



昭和46年
三鷹市新川のふじみ
焼却場周辺住民により、
ごみ搬入を阻止され、
武蔵野市内でごみを
処理することに。



広報「清掃情報」より

市報「むさしの」より



昭和54年
市民参加で
用地選定から
建設へ

昭和59年
武蔵野市の中央
市役所の前に
武蔵野クリーン
センター完成。
稼動開始。



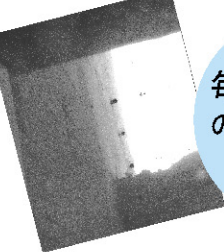
平成20年
新クリーン
センターの
検討委員会
発足



稼動開始から
24年間24時間
フル稼動!



毎日100トン
のごみが運び
込まれます



1日100トンのごみを
約950度で焼却処理。

市民参加の(仮称)新武蔵野クリーンセンター施設
まちづくり検討委員会は、傍聴も大歓迎です。

武蔵野クリーンセンターの歩み

昭和33年	三鷹市新川の「ふじみ焼却場」で、 武蔵野市と三鷹市共同でゴミを焼却 処理開始。
昭和46年	焼却場周辺住民により、騒音悪臭、 ばい煙など公害について陳情。 焼却場周辺住民により、武蔵野市の ごみ搬入が阻止される。
昭和53年	武蔵野市内にごみ処理場建設を 建設することになる。
昭和54年	後藤市長が建設用地として市営プー ル地と発表するが、反対運動が起こ り市民参加方式で用地選定を提案。 クリーンセンター建設特別市民委員 会発足。用地選定について検討。
昭和55年	市民参加で話し合いが始まる
昭和56年	クリーンセンター建設用地として、 市営グラウンド(現在地)が決定。
昭和57年	周辺地域の理解を得るため建設説明 会開催。周辺地域代表も含むクリー ンセンターまちづくり委員会発足。 施設について具体的に検討。
昭和59年	クリーンセンター建設開始。
昭和62年	クリーンセンター竣工。稼動開始。 周辺地域3団体を含む運営のチェッ ク機関である武蔵野クリーンセンタ ー運営協議会発足。
平成8年	武蔵野クリーンセンター稼働に關す る協定書を周辺地域3団体と締結。
平成9年	ダイオキシン類が社会問題化し、基 幹施設およびダイオキシン類対策の 設備改修工事が5カ年計画で始まる。
平成12年	容器リサイクル法施行。事業系ごみ有 料化、缶の分別実施、資源の日設定。 ペットボトル、その他プラスチック 類の分別収集開始。
平成15年	資源化できないプラスチック類を可 却の開始。粗大不燃ごみ処理施設更 新工事着手。
平成16年 ～17年	資源化できないプラスチック類を可 燃ごみに分別変更。家庭ごみの有料 化実施。運営協議会20周年記念事業 施設の維持管理状況調査実施。
平成20年	新クリーンセンター建設に向けて 検討が始まる。 将来に向けて施設基本構想まとまる。 (仮称)新武蔵野クリーンセンター施 設まちづくり検討委員会発足。